

地区別市政懇談会 当日質疑応答要旨一覧 西地区  
平成29年10月14日(土) 西公民館

第1部(1) 地域のまちづくり計画について  
取組状況報告: 企画課長 (別紙)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	河川浄化活動の推進について要望。水無川の堀山下1742番地付近で、生活雑排水が流れ込んでいる水路がある。野菜くずやビニール等が引っかかっているが、水路と川の合流地点は深くなっていて、長靴では入れない。河川の護岸整備の際には、これも含めてやってほしい。	《要望》		水無川では平塚土木事務所により、平和橋から下流に向けて順次河床整備を行っていますので、当該場所の整備に併せて行いたい。	国県事業推進課

第1部(2) 地域の課題として事前にあげられたテーマについて

	質問事項	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
2	西中学校多機能型体育館等の整備について	<p>将来の小中一体化した学校の設置を踏まえ、西中学校体育館の建替えを基本に、西公民館が有する生涯学習機能や地域防災機能を兼ね備えた、新たな地域コミュニティの拠点となる多機能型体育館として整備を進めている。</p> <p>平成26年3月に、西地区自治会、西中PTA、西公民館、西地区婦人会、西商店会連合等をメンバーとして「西中学校体育館、西公民館等の複合施設整備推進懇話会」を設置し、計18回の会議を通して意見を伺いながら進めてきた。</p> <p>現在、建物の詳細な配置や図面等を作成するための基本設計を行っており、その後、実施設計を行う。平成32年度中の完成に向け、今後も引き続きこの懇話会で意見を伺いながら進めていく。</p> <p>【配布資料: 事業の概要、整備後の全体配置、イメージ図、スケジュール。広報はだの10/15号(「はだの未来」特集に「西中学校に多機能型体育館を整備」記事)】</p>	教育総務課長	平成30年度に実施設計等を行い32年度中の完成を目指して、着実に事業を推進していく。	教育総務課

2	<p>学校で使う体育館と、公民館の多目的ホールのようなものは別途にできるのか、広さはどうか。現公民館のホールでは狭いので考慮してほしい。教育施設と、一般の人が使う施設との共用は難しいのではないか。</p>	<p>コミュニティ機能を備えた部屋として多目的ホールを、体育館とは別に整備する予定です。皆さんが長く使える施設になるよう、ホールの広さも含め、いろいろ話を聞きながら進めていきます。 また、学校施設とコミュニティ施設の利用者の動線等を分け、安全性にも配慮していきたい。</p>	教育総務課長	当日の回答に同じ	教育総務課
3	<p>西中学校多機能型体育館等の整備について（消防署西分署建替え整備の進捗状況）</p>	<p>西中学校多機能型体育館等の整備構想と合わせ、平成28年度に実施設計と地質調査を実施した。今年度から建築工事に着工する予定で、10月4日付けで契約を締結した。 工事の予定は、平成30年秋頃までに、東側の忠魂碑跡地に庁舎棟を建築し、事務所機能を移転。その後、既存庁舎を解体、敷地整備等を行い、車庫棟及び訓練施設を建設し、先に建てた庁舎棟と接続、一体化する。外構工事も含めた施設全体の完成は、平成31年6月末を予定。また、本整備に伴い、敷地西側の市道に幅員約3mの歩道を新たに整備する予定。 10月17日頃から、忠魂碑跡地の樹木の伐採が始まる予定で、周囲の方々にはご迷惑をかけることもあるかと思うが、ご理解とご協力をお願いします。</p>	消防総務課長	当日の回答に同じ	消防総務課
4	<p>山間の高齢者の多い住宅地に移動販売車の導入を</p>	<p>山坂が多く買い物が大変なために、高齢者が運転免許証を返納できないでいる地域が西地区内にあることは認識しており、日常生活に必要な買い物や移動の支援は、暮らしやすい地域にするための課題と考える。 買い物支援には、以前の「のんちゃん号」のような移動販売車もあるが、今は宅配サービスやネット販売も充実している。また、直接お店で商品を見ながら選びたい方に対しては、移動支援が必要になる。 いずれにしても、利用者数を安定的に確保できなければ、長期的維持は難しいので、まずは現地の方たちの意見を聞く必要がある。既に実施している地域の事例も参考に、どのような形の支援がその地域に合っているのかを考えながら進める必要がある。ぜひ皆様の地域に伺って、具体的な支援策を前向きに検討していきたい。</p>	高齢介護課担当課長	当日の回答に同じ	高齢介護課

5	<p>運転免許証の返納に対する支援について 認知症の方や認知症予備軍の方に対して、運転免許証の返納を支援するための啓発活動、公共交通機関が無い地域に居住する方への交通費の補助、買い物品の宅配補助、運転ボランティアの育成などの対策について</p>	<p>市が作成している「認知症ガイドブック」の中に、「自分は認知症の心配がいないかどうか」「運転大丈夫だろうか」等のチェック項目があり、自ら運転免許証を返納することの啓発を行っている。また、「明らかに認知症が疑われる方が運転している」等の個別相談にも応じ、支援している。 運転ボランティアの育成を昨年度から行っている。今年度は国土交通省認定の福祉有償運送講習会と位置付け、地域の中の活動に活かすための支援を行った。 免許返納により生活が不便になってしまった方への支援については、上記4の買い物支援と合わせ、地域で個別に意見を伺いながら検討していく必要がある。 また、サービスの担い手になってもらえそうな方や協力してもらえそうな事業所等も含めて協議し、持続可能な生活支援を検討する。</p>	<p>高齢介護課担当課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>高齢介護課</p>
6	<p>「TANZAWA山モリ！フェス」の開催は良かった。その状況や効果はどのようなか。</p>	<p>8月11、12日に県立秦野戸川公園で、民間企業主催の「TANZAWA山モリ！フェス」が開催され、延べ1万5千人超の来場者があった。主催・協賛企業の登録顧客、全国の約8万人に、会場である丹沢、県立秦野戸川公園が周知され、当日は渋沢駅から会場までスタンプラリーを実施したことで、多くの市外、県外からの来訪者に街並みを知ってもらえたと認識しています。 また、本市では、「山の日」に合わせて「ハダ恋山恋キャンペーン」を行っており、今年度は市主催事業27件を含む97件の参加があり、多くのメディアで延べ33回取り上げられました。西地区からは20弱の事業者・団体に参加していただき、感謝申し上げます。 ①知名度の向上、②経済の好循環化及び、③郷土愛の醸成を図るため、このキャンペーンを継続し、工夫しながら丹沢の恵みや魅力を発信し続けたいと考えております。</p>	<p>観光課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>広報課</p>

7	<p>丹沢のイメージアップを図り、表丹沢の玄関口は「渋沢駅」だと全国から認知していただけるようなキャンペーンを行い、さらに渋沢駅舎の魅力アップを図ってほしい。</p>	<p>これまでも、渋沢駅の知名度の向上を図るため、情報発信の強化等について小田急電鉄と調整してきており、平成26年12月23日には市制施行60周年を記念して、ZARDの駅メロを導入した。</p> <p>小田急電鉄とは、今後も様々な事業を連携して進めるために継続して調整を行っており、今年8月23日に「小田急小田原線沿線まちづくりの推進に関する連携協定」を締結した。沿線の個別自治体としては2番目で、これに基づいて、渋沢駅の魅力の強化と情報発信に取り組むことを双方で確認した。既に小田急側が動き始めているが、利用者の利便性、安全性や費用面の課題等についてしっかり調整し、少しずつではあるが形にしていきたい。</p>	観光課長	<p>渋沢駅舎の魅力アップへの取り組みについては、今後小田急電鉄と連携して協議していくが、打ち合わせ日程についても調整されつつある。</p>	観光課
7	<p>渋沢駅には土日の早朝から多くの登山客等が来ているが、雨の時に雨宿りする場所がない。ペディストリアンデッキや階段を利用して、テント、テーブル、椅子等を置き休憩所を作れば、表丹沢の玄関口にふさわしい「おもてなし」ができるのではないかな。</p>	<p>《意見・要望》</p>		<p>御意見として承ります。</p>	<p>観光課 建設管理課</p>
8	<p>曲松児童センターを西地区自治連と曲松自治連の拠点に</p>	<p>本市に限らず、昭和40年代から50年代に一齐に整備された公共施設が老朽化し、一齐に造り替えの時期を迎える。それに並行して人口減少と高齢化が進み、公共施設の維持経費が自治体財政を大きく圧迫する。本市では、この「公共施設更新問題」の対策として公共施設再配置計画を作成し、様々な取り組みを進めている。</p> <p>また、自治会においても会員減少、高齢化が問題となる中、地域コミュニティの重要性も高まっている。そこで、西地区内では空き店舗を利用した活動拠点の確保を行ったが、建物の老朽化や契約期間が3年であることから、継続性に不安がある。</p> <p>今回の、曲松児童センターを活用する案は、市が持つ公共施設の課題と自治連が持つ活動拠点の課題の両方を解決する有意義な提案なので、今後も話し合いを続けたい。</p>	<p>公共施設 マネジメント課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>公共施設 マネジメント課</p>

9	<p>新東名高速道路の工事に伴う渋滞と進捗状況について</p>	<p>【配布資料:工事用車両 一般道通行計画】  平成32年度の開通に向け、市内6か所で工事が進められており、市内の一般道を通行する工事用車両が徐々に増加している。運行時間は、小・中学校の登校時間や通勤時間を避けた午前8時30分から午後5時まで。  西地区では主に秦野サービスエリア工事、秦野西工事や羽根トンネル工事の土砂の搬出入のため運行している。基本的な運行ルートは、一般市道等から国道246号に出て通行しているが、現在は若松町交差点をメインに堀川入口交差点を利用しており、運行ルートを分散することで、車両が集中しないように努めているとのこと。  現在は、平成30年6月頃を目標に、本線内(事業区域内)を通行する工事用道路を建設中で、この道路が完了すれば本線内(事業区域内)での土の運搬等が可能になるため、市内を通る台数は減少するとのこと。それまでは、ご理解、ご協力をお願いします。  現在、西地区では「秦野西工事」、水無川右岸線から四十八瀬川を渡った小畑トンネル(三廻部地内)の間の、1,350mの区間を施工をしている。進捗状況としては、森戸地内で行われていた埋蔵文化財の調査が6月に完了し、県道706号、市道79号線の切り廻しの工事が完了している。現在は水無川、四十八瀬川で、橋梁の下部工事、杭工事を施工中。県道706号、市道79号、市道805号、上地区の市道907号線、市道20号線でオーバブリッジの下部工を施工しているところで、三廻部側から四十八瀬川に抜ける仮設の橋を施工中とのこと。</p>	<p>国県事業 推進課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>国県事業 推進課</p>
	<p>若松町から日立へ出る道は、最大200台のトラックが通る予定になっているが、この区間に、十分な人数の交通保安員を配置してほしい。</p>	<p>NEXCO中日本に、要望が出ていることを伝えて相談する。</p>	<p>国県事業 推進課長</p>	<p>誘導員の設置については、必要に応じて検討するが、原則としては信号処理をしている交差点には配置しない。(する必要がない。)</p>	<p>国県事業 推進課</p>

10	鳥獣被害などに対する里山及び荒廃地の整備促進について	<p>◇害獣の捕獲実績(市全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンジカ:H26年度 137頭、27年度 151頭、28年度 178頭</li> <li>・イノシシ:H26年度 56頭、27年度 47頭、28年度 89頭</li> <li>・被害面積:H26年度 54ha。3年毎の調査のため、29年度分を農協が集計中。</li> </ul> <p>◇対策 ・広域防護柵(県が設置)総延長約26km ・ネット(地区の生産組合が設置)約41km</p> <p>市の補助金:猟友会による捕獲、捕獲罟や檻の設置71基</p> <p>農協が補助:農家が設置した電気柵</p> <p>◇荒廃地の解消として、利用が予定される農地と、周辺の環境を悪化する恐れのある農地を保全する、景観作物の栽培による遊休農地の解消など、それぞれの目的や面積に合わせて支援している。また、農業委員会でも、ボランティアによる草刈り、耕うん等の農地保全をしている。</p> <p>しかし、利用予定の無い農地は、一度整備してもまた荒廃化するので、恒久的な保全のためには、新規就農者等、農地が必要な方に円滑に提供できるよう、農業委員会が管理する農地銀行や県の農地中間機構に登録してもらい、行政が積極的に紹介しながら、荒廃地の解消をしていく必要がある。</p> <p>里山の整備では、昨年、県が水源環境保全税の適用期間を5年間延長し、平成29年度から第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画がスタートした。引き続き、県の支援を受けながら、ふるさと里山整備事業やボランティアによる里山ふれあいの森づくり事業を実施し、鳥獣が棲み付きにくい環境づくりに努める。</p>	農業支援担当課長	総合的な有害鳥獣対策の推進に向け、平成30年度から環境保全課鳥獣対策担当と農産課農業支援担当の鳥獣対策窓口を一本化する。	農産課・森林づくり課
----	----------------------------	---	----------	--	------------

第2部 市政全般について

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
11	市の催しに協力できるような若いリーダーたちを育成してほしい。市内には自主的な団体が沢山あるので、市と協力して社会活動を担えるように、リーダーを集めて研修等やってほしい。	《要望》		今後の参考とさせていただきます。	市民活動支援課

12	<p>稲荷神社から平沢西踏切までの道路は、交通量が多く危険な上に、歩道は狭く車道との段差も大きい。車いすや歩行器(シルバーカー)、ベビーカーが通りにくく困っている。市内他地区のようなバリアフリーのカラー歩道にする計画はあるのか。なければ、そのような整備を自治会長からも強く要望してほしい。</p>	<p>今日は担当課が欠席なので、道路整備計画の有無は分からないが、現場を調査するように伝える。</p>	<p>国県事業 推進課長</p>		<p>建設管理 課</p>
13	<p>国道246号では、右折信号のない交差点が多く、赤でも直進してくる車も多い。また新町交差点では、国道には右折信号があるが、市道には無いため渋滞の原因になっている。警察署にお願いしてほしい。</p>	<p>《要望》 (道路の指定関係は公安委員会なので、ここでは対応できない。意見があったことを伝えてほしい。)</p>	<p>(司会)</p>	<p>国道246号は集中管理しており、交通量の多いときは青信号を長くするなど、また信号機間での時間調整なども行っており、1ヶ所の信号機の時間調整した場合、246号及びその信号機の枝線まで影響を及ぼすとのことです。 なお、新町交差点の右折信号機設置については、交差点道路の線形が悪く、右折車路もないため、警察、道路管理者で協議・検討してまいります。</p>	<p>くらし安全 課</p>
14	<p>市道の街路樹が伸びて交通の妨げになっている。担当課に要望したところ、予算がないので危険な部分だけ伐採するとのことだった。住宅の方に伸びて日照の妨げにもなっている。予算がないのなら、管理できる本数に減らしてはどうか。</p>	<p>《要望》</p>		<p>年度内に市道22、81号線といった主要道路の街路樹剪定を実施する予定で、今後も継続的に維持管理を行っていく予定です。</p>	<p>建設管理 課</p>
15	<p>連合の会長をしているが、市からの配布・回覧物等が、各課からあまりにもバラバラに届く。着日も業者もバラバラで、催しものの直前に届いたこともある。各組長宅に配布するのも結構な手間だし、組長たちも迷惑している。各課で調整し、1通に入れば費用の削減にもなるので、対応をお願いする。</p>	<p>自治会の回覧物は、毎月10日、20日、30日に自治会長宅に届くように調整している。また、事業の1か月前までには回覧を回すように、各課に通達しているが徹底されていないようなので、再度周知する。 現在、各課から個別に発送しているが、今後、事務局が把握可能なものについては、1通になるように調整したい。</p>	<p>市民活動 支援課課 長代理</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>市民活動 支援課</p>

16	農地に関わる税制が改定されて生産緑地の追加指定の問題や、生産緑地法制定から30年経ち、2022年以降どうするのかという問題がある。市が買い取ることはなっているが、農地の所有者は不安がいっぱいだ。一方では都市農業を発展させたい考えもある。ぜひ行政が、JAや農業に関わる人を集めて会議を開き、地主の判断を促す場を作ってほしい。	《要望》		都市農業及び都市農地のあり方等を検証したうえで、農業委員会やJA等と互いに協力しながら、農家の方々へ制度に関する情報を提供していく。	都市政策課
17	市内一斉美化清掃に住民は参加しているが、業者が何も参加してくれない。業者に対しても、市から通達を出してほしい。	《要望》		市内一斉美化清掃とは別に独自の美化清掃をしている事業者もあるので、地元への参加も呼びかけいきます。	環境資源対策課
18	市道24号線沿いにヤオコーができて以来、国道246号への抜け道として市道817号線の交通量が増えた。建設管理課にグリーンベルトの設置を要望したが、予算がないとの回答だったので、せめて路側帯の白線を引いて欲しいと、8月3日に申し入れた。年末か年度末かのあやふやな回答しかもらっていないが、もっと早く動いてほしい。 817号線は通学路にもなっており、高齢者の通行も多くあるので、ぜひ来期の予算でグリーンベルトの設置をお願いします。	建設管理課から、「817号線の歩行者の安全対策について警察と協議した結果、年度内に路側線(白線)の施工を行う。グリーンベルトについては、まだ。」と聞いてきた。	国県事業推進課長	当日の回答に同じ	建設管理課
19	避難所運営委員のメンバーの中に自治会長が多数いるが、災害が起きたときは自分の自治会を優先するので、避難所の運営がスムーズにできないのではないかと危惧している。現在、避難所運営委員は自主防災会の中に入っていないが、組み入れる形にすれば、自治会長が兼任することもなくなるのではないかと。	この提案については、やっているところとやってないところがある。今後、地元自治会、避難所運営委員会を交えて検討し、それぞれが役割をしっかりできるような体制を作り、災害時に備えたい。	防災課長	当日の回答に同じ	防災課
20	鳥獣被害対策で捕獲した鹿や猪について、近隣市ではジビエ料理のルートが出来たと聞いた。本市では、捕獲した害獣のうち、どのくらいの数をどのようにしているのか。奪った命の利用方法を、近隣市と相談し、検討してはどうか。	頭数は把握していないが、チームでは肉を利用してると聞いている。細かいものは所有地に埋めたり、焼却処分に委託している。 国もジビエ関係は推進しており、その場で解体できるジビエカーも開発されているが、2,000万円と高額だ。秦野市としては、この場で「やります」とは言えないが、近隣の状況も含めて研究を進めている段階。	農業支援担当課長	有害鳥獣担当の一本化により、ジビエの利活用についても、農産課で具体的な研究を進める。	農業支援担当課

21	<p>国道246号沼代交差点から千村への道路は、渋沢駅南口方面への抜け道として交通量が多いが、側溝の高さが約20cmで幅が40cmしかないので、歩行者は車道を通行し、危険な状態だ。今後、新東名が開通すれば更に交通量が増すと思われるので、対策をお願いする。</p>	《要望》		<p>通行の状況等を確認しながら、今後検証したいと考えます。</p>	建設管理課
22	<p>堀川東自治会内の、駅から水無川に向かう道路では、敷地やゴミ収集場所へのごみのポイ捨てが多く、困っている。</p> <p>先日、清掃車が来た時に相談したら、翌々日には、適正なゴミ出しを呼びかける看板を持ってきてくれた。丁寧な言葉づかいで素早い対応してくれた職員に、お礼を言いたい。</p>	《意見(お礼)》			環境資源対策課
23	<p>カルチャーパーク第2駐車場には出口が1か所しかなく、文化会館の催しの終演時は出口渋滞が起きている。左折を促す表示はあるが、右折で出ようとする車があると、さらに詰まってしまう。何らかの対応をしてほしい。</p>	《要望》		<p>ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。</p> <p>他の駐車場(第1や第7駐車場など)の案内をわかりやすくし、そちらへの駐車を促すなど駐車場所の分散化を図ってまいります。</p> <p>なお、以前、出口に右折退場を禁止する表示を設置していましたが、左折退場する車両で今よりも出口渋滞が激しかったため現在は表示をはずしております。</p>	カルチャーパーク課
24	<p>堀山地区から大倉地区に抜けるところで、道路からの不法投棄が長年放置されていた。今年度になって環境資源課に相談したところ、早速撤去し、ガードレールに投棄防止のネットを設置してくれた。崖下の危険な場所での作業にもかかわらず、迅速に対応してくれたことに、お礼を言いたい。</p> <p>併せて、今後また不法投棄が無いようにパトロールをお願いしたい。</p>	《意見(お礼)》		<p>定期的なパトロールと不法投棄物の撤去に努めます。</p>	環境資源対策課

25	自治会専用のサイトを、市のHP、市民活動支援課のページの中に作ってはどうか。どのような単位(連合、地域、自治会等)か、IDやパスワード、更新方法等、運用方法には課題もあり、自治会によっては「必要ない」と言うところもあるだろうが、一度検討してほしい。	《要望》		個人情報取り扱いなど一部課題があることから参考意見とさせていただきます。	市民活動支援課
26	秦野市内の4駅のうち、渋沢、東海大学前、鶴巻温泉の3駅は、カーブ部分にホームがある。人身事故も起きているので、ホームドアを設置してほしい。いずれは4駅全てに設置してほしいが、中長期的な計画を持って、緊急性の高い、可能なところから取り組んでほしい。	《要望》		ホームドアにつきましては、小田急電鉄(株)の事業計画に基づき、順次設置されるものと考えております。	公共交通推進課
27	秦野市の職員の市民(市内在住)率はどのくらいか。	28年度当初で、約7割で、消防等の緊急時に呼び出しがある部署ではもう少し高い。また、市外でも平塚市、中井町、伊勢原市等、隣接するところが多く、他市に比較すると相当高い率の近距離在住者がいる。	市民部長 (元人事課長)	当日の回答に同じ (平成29年度当初も約7割)	人事課
	災害時にはすぐに来てもらえるので安心できるが、その割には、地区配備隊を配置するのに苦労していると聞くが、どうか。	鶴巻、大根地区の避難所では、平塚市、伊勢原市在住の職員を充てている。また、市外在住の職員を二次的な交代要員として配置するなど、工夫しながら地区配備隊の強化に取り組んでいる。	防災課長	当日の回答に同じ	防災課
28	行政からの情報がスマホに変わった自治体もあると聞く。先ほどの「回覧物が何度も届いて大変だ」との声もあるが、秦野市ではペーパーレス化の予定はあるか。	早急にペーパーレスになることはないが、何か変わるときには相談させていただくので、よろしくお願ひします。	政策部長	スマホをお持ちでない市民もいる現状では、情報が行き届かないことが懸念されるため、全てにおいてペーパーレスとすることは困難です。 しかし、事業やイベントにより、情報活用者が特定される場合においては、所管課により取組を進めることは考えられます。	文書法制課

29	<p>渋沢駅北口のペディストリアンデッキには丹沢の山なみの案内図があるが、実際の鍋割山と塔が岳が、学習塾の看板で隠れてしまっている。観光課は承知しているのか。景観を大切にしている秦野市で、なぜこのようなことになっているのか。</p>	<p>ご指摘のことは認識しており、建物の高さやデッキの高さの関係で起きてしまっている。稜線が見えた方が良いのは明らかなので、道路を管理している部門との調整も必要だが、観光課としての方針を考えたい。</p>	観光課長	<p>当日の回答に同じ。</p>	観光課
	<p>駅前に高い建物がなくて、駅から山なみが見えるこの景観こそが、秦野市にとって、これから人口を増やしていくための大きな財産と言える。今後、駅前に商業施設等を作る計画が挙げられた時には、この財産を損なわない配慮をお願いする。</p>	<p>《要望》</p>		<p>ご意見として賜わり、参考にさせていただきます。</p>	都市政策課
30	<p>西公民館も新しい多機能施設に入ることだが、建物の前に電光掲示板を設置し、色々な情報を発信してほしい。また、他の公民館にも設置を検討してもらえると良い。</p>	<p>《要望》</p>		<p>電光掲示板の設置については、屋外の設備となることか、破損等維持管理等に課題があることから参考意見とさせていただきます。 公民館内の情報コーナーのを有効に利用いたします。</p>	生涯学習文化振興課